

CULIB NEWS

「未来に向かう図書館」

中京大学図書館長 佐藤 隆

格別に猛暑であった夏も過ぎ、秋学期が始まりました。中京大学の図書館をご利用の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

春学期中の6月12日に、私立大学図書館協会の「西地区総会」が開催され出席してきました。会場は福岡市の九州産業大学でした。今年は、例年総会の昼食時に開かれていた「図書館長懇談会」が、前日に変更されました。懇談の時間を多くする為です。そこでは、従来型の図書館を堅持することは当然、時代の変化に合わせての施設変更、今後ますます増加する電子媒体の扱い方など、各大学図書館が抱えている様々な問題を共有することができました。その議論の中心は、やはりラーニングコモンズについてでした。ラーニングコモンズは、すでに多くの大学が専用の広大なスペースを確保し活動を始めています。会では、その運用や活用について、学生支援の一環として教員・図書館員がどの方法でどの程度まで関わるか、学生間相互の向上を図る方法として学生アシスタントをどのように活用するかなどが、熱心に話し合われました。今後の中京大学図書館の改善に繋がりたいと思っています。

滞在了福岡市博多区で実感しました。福岡県の空港は「福岡」、JR 駅は「博多」です。繁栄する商業と観光の町博多は、明治に福岡市に統合されまし

た。現在の博多区にて福岡の名を曖昧に使うことは厳禁です。それは愛知県の「尾張」「三河」が、それぞれに郷土を誇りとしているのと同じ感覚です。

今回も、絶滅危惧種である上代古典文学の中の、『万葉集』世界の魅力をお伝えしたいと存じますが、その「三河」の万葉歌にいたします。

妹も我も 一つなれかも 三河なる

二見の道ゆ 別れかねつる

(3二七六、高市黒人)

(いとしい恋人も私も一つであるからであろうか。三河の国の二見の道から別れられないことだ。)

これは、奈良時代前の持統天皇が三河国(愛知県豊川市国府町)に行幸された時、宮廷歌人の黒人が、三河国の「三」と行幸地の小地名二見の「二」から、「一」を取り入れて、数字遊びをしながら詠んだ恋歌です。恋歌なのに遊びが含まれるのは、行幸に関わる宴席での披露であったからでしょう。また、なぜそこに「妹も我も一つなれかも」と熱愛する恋人に贈る歌が生まれるのでしょうか。知らない他国に訪れた時には、在地の女性との思わぬ恋が多く生まれることに由来するのでしょうか。

恋に限りません。日頃の通常世界に安住しないで、時には新天地に踏み入れて下さい。きっとそこには、皆様を飛躍させる出会いが待っています。



選書ツアー 学生達が書店で出会い、手に取って選んだ書籍を展示(右はライブラリーサービスセンター)

CULIB HISTORY

「クリブヒストリー」

— 図書館の過去・現在・未来 —



▲ガラス貼りの名古屋図書館。清潔感が漂う

図書館の歴史は、60余年の伝統を誇る中京大学の歩みと軌を一にする。校倉造りの面影を残していた旧名古屋図書館。1971年には豊田キャンパス設置に伴い、図書館豊田分室が誕生。80年代後半には世界中の図書館の電算化の流れに合わせて、本学も電算化を図った。95年にはセンタービル（0号館）にライブラリーサービスセンター、そして2013年には中部地区の大学図書館で初の自動書庫を持つ新名古屋図書館が、図書館・学術棟（1号館）に

お目見えした。法学文献センターを含め、大学全体で4館体制を敷くのも、11学部を擁する本学ならではの特色である。その図書館の歴史を「現在」から「過去」に遡ってひも解き、「未来」のあるべき姿を模索したい。

クリブ

シリーズのタイトル「クリブヒストリー」の由来ともなっている“クリブ (Culib)”は、1998年に中京大学図書館の略称として採用された造語。“C”は **C**hukyo の C、“u”は **U**niversity の u、“lib”は **L**ibrary の lib。本来はキュリブあるいはチュリブと読むのが正しいのだろうが、読みやすさや親しみやすさを考慮して、クリブと読むことになった。

第1章

「建学の精神」担う学術の拠点

第1節 「静粛な環境」と「能動的学修」の両立

地下鉄八事駅の5番出口から地上に出て、山手通り沿いに100メートルほど北へ向って歩くと、ガラス張りの美しい図書館・学術棟が目飛び込んでくる。1階の正面玄関をくぐり、左にエスカレー

CULIB HISTORY

タを見ながら、「アトリウム」と呼ばれる空間を歩いて名古屋図書館の出入口へ。

地下鉄の改札口と同じように、ICカードを当ててゲートを通り抜けると、広い閲覧室が眼前に広がる。静寂な環境の中で、黙々と読書や学習に励む学生たち。パソコンで授業の課題レポートに取り組む姿も見られる。閲覧室の右手奥には大型本用の書棚や開架書庫が立ち並び、図書が整然と並んでいる。その奥の窓際には4人掛けの閲覧机が16台あり、明るい陽光が差し込む。学習環境としては抜群だ。

2階開架閲覧室は中2階式で、閲覧席と開架図書がある。特に中2階部分は静かに読書、学習ができる環境となっている。試験期間ともなれば、1階と中2階、2階にある個人学習席と閲覧席（全体で計478席）はぎっしり。夜10時の閉館まで熱心に勉強をする学生も少なくない。

その一方で、学生たちの人気が年々高まっているのが、能動的学修支援施設「ラーニング・スクエア」だ。



▲名古屋図書館ラーニング・スクエアでグループ学習をする学生たち

昨今の情報化社会では、活字離れ、読書離れが深刻化し、大学でも漢字が十分に書けない学生や、本を読まなくなった学生が増えてきていると言われ、その結果として、コミュニケーション能力の欠如が、社会的に広く認知されている。IT能力の向上とは裏腹に、「心の交流」が苦手なために人間関係が円滑にいかんかったり組織に順応できなかつたりして、就職後3年以内に離職する者も少なくない。このため、大学教育に対しては、

ただ授業を受けるだけの「受動的な学習」ではなく、学生たちがグループで学習し、活発に議論をしながらコミュニケーション能力を培う「能動的学修」を推進する必要性が指摘されている。その突破口と期待されるのが「ラーニング・スクエア」である。

社会人基礎力を身に着ける土台となるのは、「読む能力」「書く能力」「議論する能力」である。学生の学習時間や読書量の増加を促し、学生同士が切磋琢磨できる空間を整備することは、大学図書館の使命でもある。「ラーニング・スクエア」は、大教室での受動的な授業では不可能なグループ学習を展開し、学生の潜在能力を引き出す可能性を秘めた空間であるといえる。

名古屋図書館に設置されたラーニング・スクエアでは今、学生たちがグループで議論したり、パソ

CULIB HISTORY

コンやプロジェクターを使いながら課題作成したりする「能動的学修」を精力的に展開する姿がみられる。今後、各学部が授業やゼミの一環として行っている企業とのコラボレーション、他大学との学修・研究交流を積極的に支援し、学生たちの社会人基礎力の強化を図るためには、ラーニング・スクエアの存在意義はますます高まっていくだろう。

第2節 中部の大学で初の自動書庫



▲自動書庫では、パソコンで取り出し指示を出した図書をコンテナで運ぶ

名古屋図書館の目玉の一つは、80万冊を収容できる「自動書庫」の存在だ。1階中央の階段の右手に、6台のOPAC端末が設置された検索コーナーがある。その端末の画面で、読みたい本が6号館地下の「自動書庫」に保管されていることが分かれば、取り出しボタンをクリック。オンラインによって、バーコード検索された蔵書が、自動書庫からコンテナに乗って一階の閲覧カウンターに運ばれてくるシステムだ。パソコン

画面でお目当ての本をクリックしてからカウンターで入手するまでに、わずか3分ほど。教員や学生が研究室や学内の自分のパソコンからも検索、取出し指示できる優れたものだ。

OPAC (オーパック)

Online Public Access Catalog の略。コンピューターを利用し、オンラインで蔵書を検索することのできる目録のこと。パソコン画面に書名や著書名などのキーワードを入力し、OPACで検索することで、自分の探している資料が中京大学図書館にあるかどうかを調べることができる。

このほか、名古屋図書館の地下1階にある「貴重書庫」も、本学の売り物の一つだ。特に江戸時代以前の国文学関連の図書が充実している。南北朝時代の1380年に書かれた「源氏物語」の写本、カール・マルクス「資本論」の初版本など200冊以上の貴重書がズラリとならぶ。書庫内の温度、湿度の状態を適性に保つため、エアコンはつけたまま、冬は湿度が下がるので加湿器を作動させるなど、

CULIB HISTORY



▲名古屋図書館貴重書庫。本が傷まないように温度や湿度の管理に留意している

その保存管理には細心の注意を払っている。

この「自動書庫」と「貴重書庫」は、本学への見学者たちからも好評だ。2015年4月以降も、韓国や中国の高校生、アメリカやカナダなど海外からの留学生がグループで見学を訪れ、自動書庫でコンテナがかなりのスピードで本を載せて、地上のカウンターまで運んでいく様子に、目をぱちくり。感嘆の声を上げて、スマートフォンのカメラのシャッターを切っていた。

Cプロジェクト

名古屋キャンパスでは2010年、校地Iの環境整備計画としてCプロジェクトが立ち上げられた。当時、図書館（旧名古屋図書館）のあった旧1号館を解体してその敷地と周辺に新1号館（現在の図書館・学術棟）を、本部事務室のあった旧11号館を解体して新11号館（現在の本部棟）を新築するという計画である。その1年前の2009年7月には、旧1号館奥の林を切り開き、新6号館新築工事が着手された。当時、旧名古屋図書館の蔵書数は約50万冊あり、この蔵書の一時保管場所が必要だった。そして、仮移転場所として新6号館に白羽の矢があたり、それを契機に、2010年8月に完成した新6号館のG階（地下）に、約80万冊を収蔵できる自動書庫が設置されることになった。

第3節 名古屋図書館と相互補完する3つの図書館

名古屋キャンパスの中央に位置するセンタービル（0号館）の3、4階部分に設置されているライブラリーサービスセンター（以下LSC）は、1995年の設置当初から「本学学生の学習のための図書館」との位置付けだった。そのため資料はすべて“学生に読ませたい”、“学習の役に立つ”、“授業の参考になる”、“教員が授業で指定した資料”で、自由に手に取って利用することができるオープンライブラリーである。3階部分にLSC出入口があり、入るとすぐに雑誌新聞が読めるブラウジングコーナー、また右手には開架エリアが広がり、左手には視聴覚資料（DVDやブルーレイ）を見るこ

CULIB HISTORY



▲センタービルのライブラリーサービスセンターで勉強する学生たち

とのできる AV コーナーがある。中央の螺旋階段を上った4階はオール開架閲覧室となり、LSCの閲覧席は計436席にのぼる。

さらに、名古屋キャンパス3館目の法学文献センター（以下 LLC）は1998年、法学部のある校地Ⅱに新設された。それまでの分室（1990年設置）から、法学関係文献専門資料を所蔵提供する専門図書館としての役割が期待された。小規模ではあるが専門図書館としての機能を持たせるため、それま

で旧名古屋図書館が所蔵していた法学関係専門資料のほぼ全てをこの LLC に移動して、法学部所属教員や学生のための図書館として機能するようにした。閲覧席は100席ある。

一方、豊田キャンパスに目を移すと、1971年に体育学部が豊田キャンパスへ移転したことに伴い、同キャンパス4号館の1階と2階部分に図書館分室が設置され、その後、1974年に豊田キャンパス本部棟が新築されると同時に、図書館分室も本部棟1階と2階部分に移転して図書館豊田分館となった。1988年には現在の豊田図書館を新築し、念願であった図書館独立棟となった。

独立棟である豊田図書館は、地上3階建て（1階、中2階、2階、3階）の図書館で、1階と中2階には書庫が設置された。2階は利用者から見た図書館1階正面入口のある階にあたり、中に入るとすぐに新聞と週刊誌の読めるブラウジングコーナーがある。学生証や利用証が無くてもだれでも自由に利用できる空間だ。



▲法学文献センターの入口から見た情報検索コーナー（左）と閲覧室

図書館出入口のバーを押して中に入ると、閲覧カウンターが左側に、そのすぐ右手には3階閲覧室に上がるための階段がある。入口右手には DVD やブルーレイを見ることのできる個人ブースが8台あり、その奥には閲覧機が窓際に沿って奥へと並んでいる。2階開架室奥には「キャリア・シラバス」

CULIB HISTORY



▲豊田図書館に新設されたラーニング・スクエア（開設前）

コーナーを含む開架書架が並び図書が配備されている。

カウンター前の階段を上った3階閲覧室には、談話を楽しめるラウンジや、読書・学習を集中してするための静粛学習室がある。ここでは書架も図書の配架もなく、個別に仕切られた45人分の個人机が整然と並んでいて静かに読書、学習をする場の環境が整えられている。閲覧席は全体で計394席。

この豊田図書館にも今年夏、2階閲覧室の一部を改修して「ラーニング・

スクエア」が新設された。秋学期から学生が早速、利用を始めている。中京大学の長期計画「NEXT10」で採択された能動的学修支援事業の一環として、整備されたものだ。既設の名古屋図書館ラーニング・スクエアと比較して特徴的なのが、スクエア内の一部を自由に区切り、多様な利用方法に対応できる「プロジェクトスペース」が設定可能なことである。

全国の大学におけるアクティブ・ラーニング・スペースの設置数は年々増加し、その数は急カーブで上昇。各大学ともハード面、ソフト面での一段の向上に努めている。大学間の競争の背景には、2010年12月文部科学省科学技術・学科審議会学術分科会提唱「大学図書館の整備について一変革する大学にあって求められる大学図書館像一」において、学修支援の重要性が強調されたことも、大きな要因となっている。

また、2014年12月の中央審議会答申「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について」の中でも、主体性を持って多様な人物と協力して学ぶことのできるアクティブ・ラーニングの促進がうたわれている。

今後、高校でも小論文やプレゼンテーション、集団討論などが活発に行われるようになり、将来、本学に入学してくる学生たちの間でも、「能動的学修」態度を身に着けた人材が増えていくだろう。そうした新入生たちの受け皿として、「ラーニング・スクエア」の役割は、さらに重要になってくる。

多様な学生のための多様な図書館。4つの図書館の蔵書数は2015年3月現在、100万冊（製本雑誌を含む）を突破した。今後、4館の特色を生かし、相互に補完させ合いながら、さらに時代のニーズにマッチした図書館像を考えることが、われわれの使命でもある。（続く）

（名古屋図書館参事 加藤 恭輔）



『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』

加藤 陽子

朝日出版社

日清戦争から太平洋戦争までの半世紀、日本人はなぜ戦争を選び続けたのか。本書は、日本近代史研究の第一人者が、この率直な問いをめぐって、中高生に語る形式で対話を重ねた講義の記録です。

それぞれの戦争の特徴、戦争が国家や社会に与えた影響が主なテーマなどと聞くと、堅い本を連想しますが、ページを開けば、統計やグラフ、地図はもちろん、レジュメ風イラストもあって、当時の代表的な人物がその言動とともに生き生きと浮かび上がり、あたかも歴史を追体験しているかのようです。簡単な答えは出てきません。でも歴史を学ぶことは、将来何かの選択に直面したとき、きっと役立つはずというのが、著者のメッセージです。

戦争の話が苦手な人も、ぜひ序章だけは読んでみてください。歴史の面白さにふれることができます。

経済学部 教授 橋 建也



『霧の旗』

松本 清張

新潮社（新潮文庫）

何度もTVドラマ化されたことのある松本清張の代表作の1つ。

殺人の罪で、死刑判決を受けた兄の無実を信じる桐子は、冤罪裁判を闘った実績のある高名な弁護士・大塚に助力を嘆願する。しかし、この兄妹がお金をもっていないことを見透かした大塚は、すげなくその願いを断る。そして、ほどなく兄は獄死。ところがその直後、大塚はその兄の無実をうかがわせる有力な証拠となる事実気づく。悔恨と自責の念——。しかし、そのときから、桐子による凄まじい復讐が始まる。

人間にとって、社会にとって、「法」とは、「裁判」とは、「正義」とは何なのかを、考えさせる名作。法学部の学生はもちろんのこと、大学で学ぶ若者であればぜひ一度読んでほしい作品である。

法学部 准教授 長尾 英彦

書籍紹介

先生編



『伝わるデザインの基本 -よい資料を作るためのレイアウトのルール』

高橋 佑磨・片山 なつ

技術評論社

何かを報告したり伝えたりするとき、大切なのは中身と見た目のどちらだろうか。このように言うと、多くの人は重要なのは中身であって見た目ではない、と考えがちである。しかしそれは必ずしも正しくない。どんな情報であっても、それがうまく伝わるかどうかは結局、見た目上の表現にかかっているからである。本書では伝わりやすさを「情報×デザイン」と表現している。情報(=中身)の伝わりやすさは、デザイン(=見た目)に左右されるという意味である。ただしここでいうデザインとは、書体や配色、レイアウトに関する「ルール」のことであり、デザイナーに求められるようなセンスを意味しているわけではない。つまり学習によって身につけることができる。プレゼン資料の作成時などに手元に置いておいて欲しい一冊である。

国際教養学部 准教授 埴淵 知哉



『ユーザーイリュージョン -意識という幻想』

トール ノーレットランダーシュ

紀伊国屋書店

西部劇の決闘シーンでは、最初に銃を抜いた方がほとんど負けている！これ、知っていましたか？本書には、この映画の1シーンが正しいことを実証する様々な研究結果が、「情報」という観点でまとめられています。不思議なことに、人間は、動きに反応した時の方が意図的に動く時より情報処理が早いからなのです。

さて、神業とも言えるトップアスリートの巧みな動きも、この「情報」という観点から見たらその仕組みが解き明かされるかもしれません。拙著「トップアスリートの動きは何が違うのか (DOJIN 選書43)」は、本書から発想を得て、「情報」と力学を駆使し、絶妙なトップアスリートの技を探ったものです。本書とともに、スポーツの世界の新しい見方を覗いてみてください。

スポーツ科学部 教授 山田 憲政



『アタマがみるみるシャープになる!!
脳の強化書』

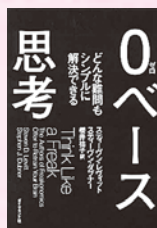
加藤 俊徳

あさ出版

「脳トレ」というと多くの人が「老化を防止する手段」と考えているだろう。たしかに衰えを防ぐために脳を鍛えることも大切である。しかし、それ以前に人の脳には未開発の部分が多く残っており、そこを刺激することにより脳の可能性を大きく広げることができるのである。

本書では、「脳番地」という考え方をもとに脳を鍛えていく。脳には場所によって役割が決まっており、それぞれを意識的に鍛えることが可能である。さらに、脳番地は連携することで強化されていく。66ものトレーニングが紹介されており、一品主義であったこれまでの脳トレとは違い、それぞれの脳の個性に合わせたトレーニングができることも利点の一つである。自分の可能性を広げたい、楽しく脳を鍛えたいという方には是非読んでほしい一冊である。

国際教養学部 2年 上村 直也



『0ベース思考
—どんな難問もシンプルに解決できる』

スティーヴン・レヴィット
スティーヴン・ダブナー

ダイヤモンド社

この本は、『ヤバイ経済学』を出版した著者が問題解決に役立ちそうな考え方をまとめたものです。大食い選手権からピロリ菌の発見まで、様々なエピソードから考え方のヒントを提示してくれます。

私が興味深いと感じたエピソードは、アメリカのとあるロックスターの契約書に「おやつに茶色のM&M'sを入れるな」という文言が書かれているというものです。一見ただの悪ふざけに見えるこの文ですが、実は、ある目的のために書かれたものです。その目的は実際に読んで確かめてください。

小さな問題から大きな問題まで、解決に行き詰った時に、少し視点を変えることでユニークなアイデアが思いつくかもしれません。その面白さをこの本は教えてくれます。

法学部 4年 神谷 純平

書籍紹介

学生編



『トオチカ』

崎谷 はるひ

角川書店

鎌倉で雑貨店<トオチカ>を営む西風里禰子。過去の恋のトラウマを抱える彼女にトオチカに入店する有能なフリーバイヤーの敷地千正は何かとちょっかいをかける。彼に対して普通に振る舞えない里禰子は、ある日、決定的な弱みを見せてしまう。大人だからこそ、恋に落ちるのは、カンタンじゃない。大人の恋に恋をする、そんなお話。

この作品は、恋愛をすることに抵抗のある里津子が敷地と出会うことで少しずつ変化していく。里津子のおばも通っていた名前のない<あの店>で心の不安を吐き出しながら昔のこと、今のことを考え、前に進む決心をする。

恋をしている人もしていない人も、大人女子のラブストーリーを是非読んで欲しい。

経済学部 3年 萩尾 素子



『乳酸を使いこなす
ランニング』

八田 秀雄

大修館書店

いままで、スポーツをする上で「常識」だと思っていたことは、本当に正しいのでしょうか。

走り終わった後や、きつい練習をした次の日に「乳酸が溜まって動けない」と言っている人を見たことはないでしょうか。乳酸という言葉は、スポーツをしている人の中で悪い意味で捉えられがちな面があります。しかし、乳酸とは一体何なのか、どうしてできるのか本当の意味を知っている人は少ないと思います。

この本では、ランニングをすることによって生じる様々な体の変化を運動生理化学的に説明し、乳酸や、その他の運動によって生じる化学反応について説明されています。ランニングはどの競技にもつながるものです。ただ単にスポーツをするだけでなく、運動する中で体にどんな影響があるのか、また体の中ではどのようなことが起きているのか知っているのと知らないのでは大きく異なります。

スポーツ科学部 3年 山下 真輝

お知らせ

「企画展」充実、本の魅力アピール

名古屋図書館、法学文献センターでも 10月からは4館の展示を巡回で開催

中京大学図書館は、図書館に所蔵されている本をテーマ別に1か所に集めて、本の魅力をアピールする「展示企画」を、従来のライブラリーサービスセンター（LSC）と豊田図書館に加えて、今年7月から名古屋図書館（NL）、9月からは法学文献センター（LLC）でもスタートした。10月からは、各館主催の企画展示を全館で巡回展示する方針で、学生たちに読書の楽しみを伝えていく。

名古屋図書館の展示企画コーナーの場所は、学生たちが雑談などしてくつろげる「リフレッシュクエア」の一角。7月20日から8月31日まで「妖怪・ホラー展」を開いた。

展示したのは、1つは「四谷怪談」「番町皿屋敷」など古典的な日本古来の怪談。小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の「怪談」も関心を呼んだ。また、中国と日本の妖怪に関する資料も展示した。さらに、「西洋のホラー」ではドラキュラや人狼などの日本語版や、洋書のホラーも展示した。



また、9月は「心の健康を考える～悩んでいるあなたへ～」と題して、メンタルヘルスに関する図書などを集めた展示を行った。大学生が抱える悩み・不安に対して解決の糸口を見つける手段の一つになれば、との思いからだ。



一方、ライブラリーサービスセンターと豊田図書館では、5月23日に実施した「学生選書ツアー」に参加した学生たちが、書店で手に取って選んだ本を並べた企画展「学生選書ツアー2015」を同時開催した。「世界の写真家たちによる美の景観 新世界でいちばん美しい街・愛らしい街」（エムディエヌコーポレーション）、「最新 DNA 鑑定その能力と限界」（勝又義直著、名古屋大学出版会）など、学生たちが「友達にもぜひ読んでもらいたい」と思って選んだ本がズラリ。9月1日からは法学文献センターでも初の企画展「法律職と資格対策」を行った。

10月から巡回開催をスタートさせるのは、本学にある4図書館のそれぞれ特色をアピールすることで、学生たちに普段、あまり利用しない他館への興味を持ってもらうことが狙いだ。

2015年
1月～6月

ベストリーダー 図書館で多く利用された図書を紹介합니다。

ライブラリー・サービス・センター (LSC) 【和書】

順位	資料名	著者名
1	少女 (ハヤカワ・ミステリワールド)	湊 かなえ 著
2	虚ろな十字架	東野 圭吾 著
3	鹿の王 上・下	上橋 菜穂子 著
4	何者	朝井 リョウ 著
5	夜行観覧車	湊 かなえ 著
6	夢違	恩田 陸 著
7	母性	湊 かなえ 著
8	銀翼のイカロス	池井戸 潤 著
9	おとなの教養：私たちはどこから来て、どこへ行くのか？ (NHK 出版新書：431)	池上 彰 著
10	夢をかなえるゾウ	水野敬也 著

法学文献センター (LLC) 【和書】

順位	資料名	著者名
1	債権総論・担保物権 第3版 (民法：3)	内田 貴 著
2	資料で学ぶ国際関係	佐道 明広 [ほか] 共編著
3	盗聴法の総合的研究： 「通信傍受法」と市民的自由	右崎 正博 [ほか] 編
4	死刑廃止論 第6版	団藤 重光 著
5	選挙と投票行動の理論 (「現代の政治学」シリーズ：7)	白鳥 令 編
6	18歳の政治学	松下 啓一、瀬島 誠 編 著
7	憲法判例 第6版	戸松 秀典、初宿 正典 編著
8	国際紛争：理論と歴史	ジョセフ・S. ナイ・ ジュニア 著、デイ ヴィッド・A・ウェル チ 著 / 田中 明彦、村 田 晃嗣 訳
9	普天間の謎： 基地返還問題迷走15年の総て	森本 敏 著
10	中国の人民民主政権： その建設の過程と理論 (東大社会科学叢書：16)	福島 正夫 著

名古屋図書館 (NL) 【和書】

順位	資料名	著者名
1	両眼立体視における 対応問題の研究 (心理学モノグラフ：no. 28)	鬘 一夫 著
2	インタフェースデザインの心理学： ウェブやアプリに新たな視点をもた らす100の指針	Susan Weinschenk 著 / 武舎 広幸、武舎 るみ、阿部 和也 訳
3	天保改革 (日本の歴史：22)	津田 秀夫 著
4	方丈記全釈 (笠間注釈叢刊：17)	武田 孝 著
5	対人関係と恋愛・友情の心理学 (朝倉実践心理学講座：8)	松井 豊 編
6	史上最強図解これならわかる！ 電磁気学	遠藤 雅守 著
7	人口減・少子化社会の未来： 雇用と生活の質を高める	小峰 隆夫、連合総合 生活開発研究所 編
8	萬葉和歌の表現空間	影山 尚之 著
9	アベノミクス批判：四本の矢を折る	伊東 光晴 著
10	嫌われる勇気： 自己啓発の源流「アドラー」の教え	岸見 一郎、古賀 史健 著

豊田図書館 (TL) 【和書】

順位	資料名	著者名
1	運動器の解剖と機能 第2版 (公認アスレティックトレー ナー専門科目テキスト：2)	福林 徹 編
2	戦う身体をつくるアスリートの食事 と栄養	田口 素子 編著 / 辰田 和佳子、長坂 聡子 著
3	笑いの世紀：日本笑い学会の15年	日本笑い学会 編
4	絶望の国の幸福な若者たち	古市 憲寿 著
5	日本人のしつけは衰退したか： 「教育する家族」のゆくえ (講談社現代新書：1448)	広田 照幸 著
6	ネットワーク分析 (Rで学ぶデータサイエンス：8)	鈴木 努 著
7	拡大する社会格差に挑む教育 (シリーズ日本の教育を問いなおす：1)	西村 和雄 [ほか] 編
8	観光メディア論 (「シリーズ」メディアの未来：4)	遠藤 英樹、寺岡 伸悟、 堀野 正人 編著
9	障害をもつ人の家族の心理 (障害者福祉シリーズ)	徳田 茂 著
10	勝負を決める！スポーツ心理学： 試合に勝つ！記録を伸ばす！ココロ の強化法 50 (からだ読本)	高畑 好秀 著

2015年度 図書館カレンダー

図書館の開館予定が一覧でご覧になれます。

各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、図書館ホームページの【ニュース】でご案内いたします。

◎通常の開館時間

	名古屋図書館 (NL)	ライブラリーサービスセンター (LSC)	法学文献センター (LLC)	豊田図書館 (TL)
平日	9:00～22:00 <small>(中京大学の教職員証・学生証をお持ちでない方は下記時間内に入館して下さい 平日9:00～19:00、土曜日9:00～12:30)</small>	9:00～20:00	9:00～19:00	9:00～20:30
土曜日		9:00～12:30	9:00～12:30	9:00～17:30

◎日付の色について

無印は通常開館日

○の開館時間 (全館 平日9:00～17:00、土曜日9:00～12:30)

●の開館時間 (全館 平日9:00～16:00、土曜日9:00～12:00)

■は休館日

●の開館時間 (定期試験月の休日開館日 10:00～17:00 (LSCのみ))

■はオープンキャンパス、ホームカミングデー (9:00～16:00)

名古屋図書館 (NL)							ライブラリーサービスセンター (LSC)							法学文献センター (LLC)							豊田図書館 (TL)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
10月							10月							10月							10月						
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31
11月							11月							11月							11月						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30						29	30						29	30					
12月							12月							12月							12月						
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31		
1月							1月							1月							1月						
					1	2						1	2						1	2						1	2
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30
31							31							31							31						
2月							2月							2月							2月						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
28	29						28	29						28	29						28	29					
3月							3月							3月							3月						
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31			27	28	29	30	31		

発行 中京大学図書館

〒466-8666 名古屋市長和区八事本町101-2 TEL(052)835-7157 http://www.chukyo-u.ac.jp/research_2/library/ 印刷 株式会社一誠社